



10月から合唱コンクールの練習も始まり、皆さんのすてきな歌声が図書室にも届いています。「芸術の秋」ですね。秋といえば、「スポーツの秋」や「読書の秋」もあります。あなたはどの秋が好きですか？ 過ごしやすいこの季節、いろいろな秋を楽しみましょう。



今月は、皆さんのように合唱コンクールに向けて頑張る中学生や高校生の物語を紹介します。

♪『ソノリティ はじまりのうた』 佐藤いつ子：著 KADOKAWA

水野早紀は、内気なのに合唱コンクールの指揮者を任されます。幼なじみの音心が伴奏者ですが、バスケットで練習に来ない岳や、岳の幼なじみの晴美、同じバスケット部の涼万など、さまざまな悩みを抱える5人が、一つの目標に向かいながら成長していく物語。それぞれが主人公として描かれる連作短編集です。

♪『くちびるに歌を』 中田永一：著 小学館

五島列島にある中学校で、産休の先生の代理できた顧問の先生が美人だったことから、女子だけだった合唱部に男子部員が入ります。夏の大会に向けて混声合唱の練習が始まりますが、女子と男子の間でやる気の差が生まれ、対立します。最後は、気持ちよく読み終われる清々しい作品です。

♪『樹上のゆりかご』 荻原規子：著 理論社

伝統行事が残る辰川高校に通う上田ひろみ。学校には、生徒が自由に活動できる執行部があり、友人の夢乃に誘われ、手伝いをするようになります。まずは5月に行う合唱祭に向けて、練習や準備を進めます。そんな中ある事件が起こり、執行部の仲間とともに事件に巻き込まれてしまいます。



11. 住み続けられるまちづくりを

—都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする—

安全で安価な住宅サービスの確保、スラムの改善、公共交通機関の拡大、災害による死者や被災者を減らす。世界の文化遺産や自然遺産の保全・保護の強化、大気汚染や廃棄物による環境悪化を減らす。都市部と農村部の連携や災害対策、開発途上国の建物整備の支援をする。

『セント・ギルダの子』 ベス・ウォーターズ：文・絵 原田 勝：訳 岩波書店

〈世界の果ての島々〉と呼ばれたセント・ギルダ諸島は、1930年まで人が暮らしていました。荒れた海に囲まれ、工夫をしながら独自の文化を作ってきた暮らしを、一人の少年の視点で美しく描いた絵本です。現在この島は、自然遺産と文化遺産の両方に登録されています。

この本、読んでみませんか？ (図書委員 光さんのおすすめ)

『誰が勇者を殺したか』 駄犬：著 KADOKAWA



アレス・シュミットは、勇者育成学校でレオン・ミュラーに剣術、ソロン・パークレイに攻撃魔法、そしてマリア・ローレンから回復魔法を教わります。絶対にできないといわれても練習を続け、努力の末に卒業し、4人でパーティを組みます。みごとに魔王を倒し、報告のために王都へ向かう途中、勇者アレスは仲間我突然別れを告げて、どこかへ旅に出てしまいます。どうしてそんなことをしたのか？そして、『誰が勇者を殺したか』という題名の意味とは？ 知りたい人は、ぜひ読んでみてください。